

ご自宅のブロック塀を安全点検しましょう

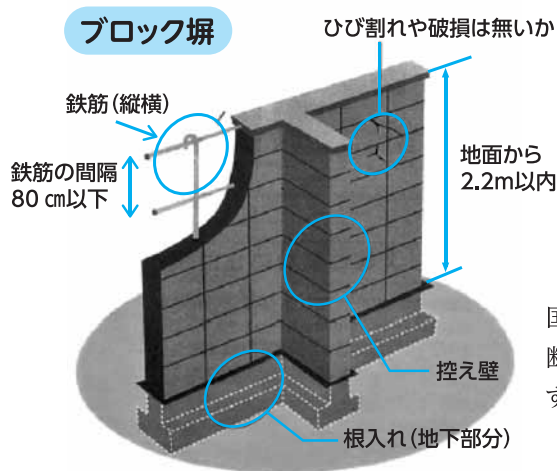
平成30年6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震により、ブロック塀が倒壊し死傷者が発生しました。倒壊した塀は、道路をふさぎ、避難や救助・消火活動を妨げる場合もあります。

既存ブロック塀の点検方法は、市ホームページに掲載しています。

市民の皆様も日頃から、自宅のブロック塀の安全性を点検し、災害に備えるようにしましょう。

安全点検のための主なチェックポイント

- 塀は高すぎないか？ ⇒ 地面から2.2m以内とする。
 - 壁の厚さは十分か？ ⇒ 高さが2.0mを超える場合は厚さが15cm以上、高さ2.0m未満は厚さが12cm以上が必要。
 - 基礎の根入れはあるか？ ⇒ 地面より深さ30cm以上埋め込む。
 - 控え壁はあるか？ ⇒ 塀の横方向3.4m以下ごとに、塀の高さの1/5以上の奥行きのある控え壁が必要。
 - 塀に鉄筋は入っているか？ ⇒ 塀の中に直径1cm以上の鉄筋が、縦横ともに80cm間隔以下で入っている。鉄筋の末端は、かぎ状に折り曲げて定着していること。
 - 塀は健全であるか？ ⇒ 傾き、ひび割れ、ぐらつき、鉄筋の腐食などは無いかな。
- ※ただし、塀の高さが地面から1.2m以下の場合はこれらの基準の限りではない。



国土交通省住宅局監修(財)日本建築防災協会編集(木造住宅の耐震診断と耐震改修のすすめ「地震から我が家を守ろう」)(2006年)及び四国すまいづくり推進会議資料(2009年)を参考に作成。

【お問い合わせ先】 市危機管理課 (市役所4階) ☎ 3 2 ・ 2 2 2 7 / FAX 3 2 ・ 3 5 2 2
Mail: bousai@city.komatsushima.i-tokushima.jp



◎野犬・係留されていない犬の捕獲や飼い主への指導については、徳島県動物愛護管理センター(☎ 0 8 8 ・ 6 3 6 ・ 6 1 2 2)までご連絡ください。

◎散歩中の犬の糞の後始末は、飼い主の義務です。糞は必ず持ち帰りましょう。

◎まわりの人に迷惑や危害を与えることがないように、放し飼いは決してしないでください。

犬は正しく飼いましょう！